

## 2-5

# スマートフォン用サイトの 主なUIパターン

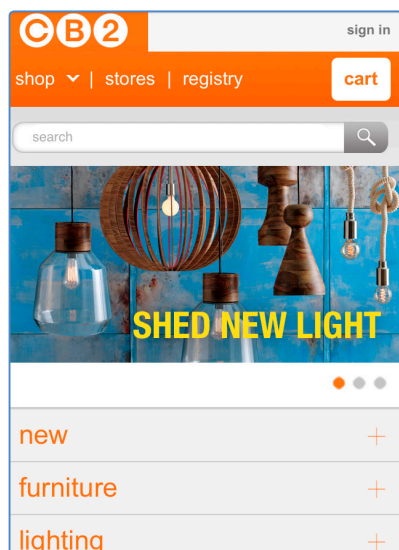
スマートフォン用のWebサイトで利用される、代表的なUIデザインを見ていきましょう。

## ヘッダーを機能的に使う

### CB2

スマートフォン用サイトのヘッダーは、比較的狭めにレイアウトされたものが多い印象です。画面サイズが小さく、できるだけ多くの情報をファーストビューで見せるために、狭めのヘッダーでレイアウトするからでしょう。メニューや問い合わせなどのユーティリティ的なボタンがヘッダー内に一緒に表示される例もあります。

アプリのデザインではスクロールをしてもヘッダーが固定されているものが多いのに比べ、スマートフォン用サイトではスクロールによって画面から消える場合がほとんどです。これは、スマートフォンOSのブラウザでは固定配置が難しいものがあることが大きな理由のひとつです。

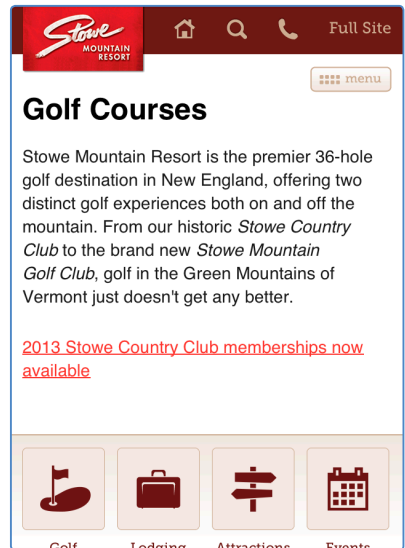
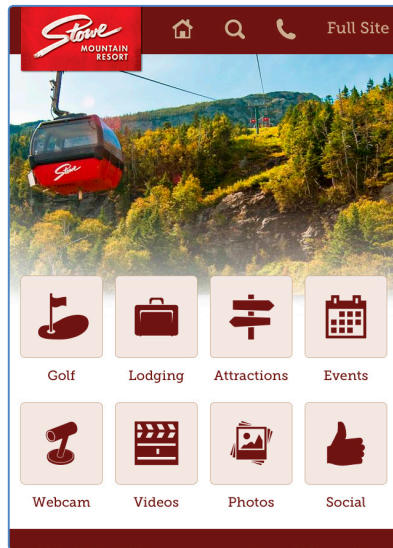


<http://www.cb2.com/>

## Stowe Mountain Resort

かなり狭めのヘッダーでデザインされているWebサイトです。ヘッダーにはサイトの主要メニューではなく、ホーム、検索、問い合わせなどのユーティリティを配置し、主要メニューはメインビジュアルの下にアイコンとして配置されています。

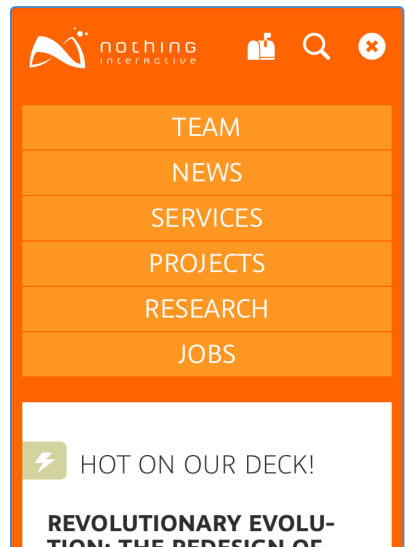
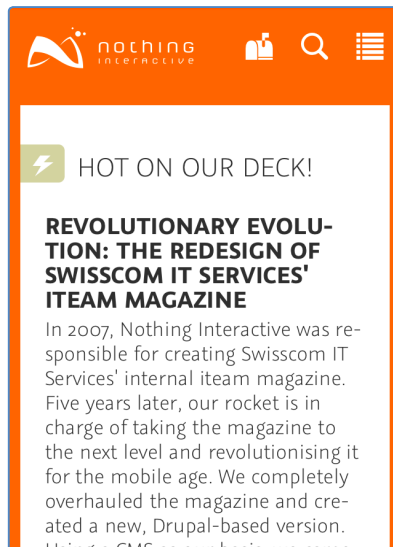
<http://www.stowe.com/>



## Nothing Interactive

ヘッダーに企業ロゴ、連絡先、検索、ナビゲーションを機能的に配置したサイトです。誤操作が起こらないように、それぞれのボタンのヒットエリアを広めにしています。

<http://www.nothing.ch/en>



## さまざまなナビゲーション

スマートフォン用サイトでも、ナビゲーションのUIはWebサイトごとに個性的にデザインされています。ナビゲーションの各ボタンは、ヒットエリアを十分に確保することがポイントです。

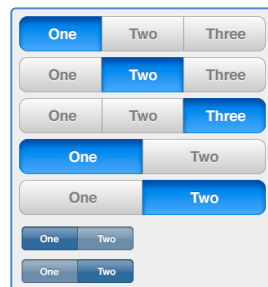
### ボタン／タブ型

#### iichi

スマートフォンの設定画面などで使われている標準UIに似たボタンを、ページ上部でナビゲーションとして取り入れています。CSS3を使った軽量な実装と、アイコンを取り入れることでよりわかりやすいボタンになっています。ページ下部の「作品カテゴリー」の多種類のカテゴリーも、アイコンを効果的に使用しています。

#### toto 公式サイト

パソコン用サイトでもよく使われる基本的なパターンである、タブ型のナビゲーションを採用しています。このサイトでは、選択エリアの縦幅が広がることで強調する工夫がほどこされているのに加え、カラーリングでも明確な区別がされています。選択肢が最大でも5つ程度の比較的少なめのナビゲーションをデザインする際に検討したいスタイルです。



iPhoneのラジオボタンの標準UI



<http://www.iichi.com/mobile/>



<http://www.toto-dream.com/>

## UNIQLO

アイコンとテキストによるナビゲーションです。このタイプはページの上部に配置することがほとんどです。また、選択されている該当ページは色を変えたり、アンダーラインを入れたりなどの方法で強調します。ページ上部のナビゲーションエリアを効率的に活用し、商品検索の位置やカテゴリボタンも適切に配置するなど、よく設計されていることがわかります。



<http://www.uniqlo.com/jp/sp/>

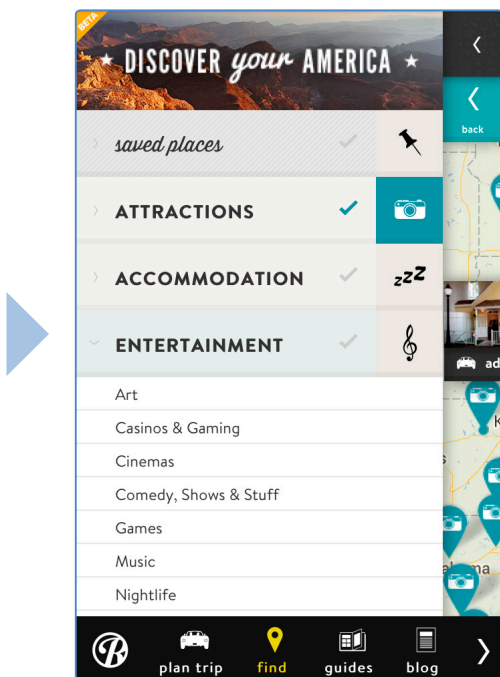
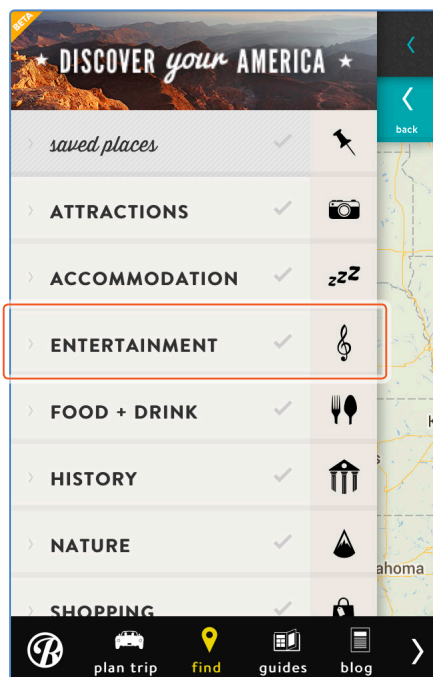
## アコーディオン型

リスト状に並んだナビゲーション項目をタップすることで、サブの項目が展開されるメニューです。アコーディオンの蛇腹のように閉じたり開いたりするので「アコーディオンメニュー」と呼ばれます。ナビゲーションの項目数が比較的多いWebサイトに適しています。

## Roadtrippers

ナビゲーション項目をタップすると下側が開き、そこにサブメニューがリスト状に表示されます。

<http://www.roadtrippers.com/>



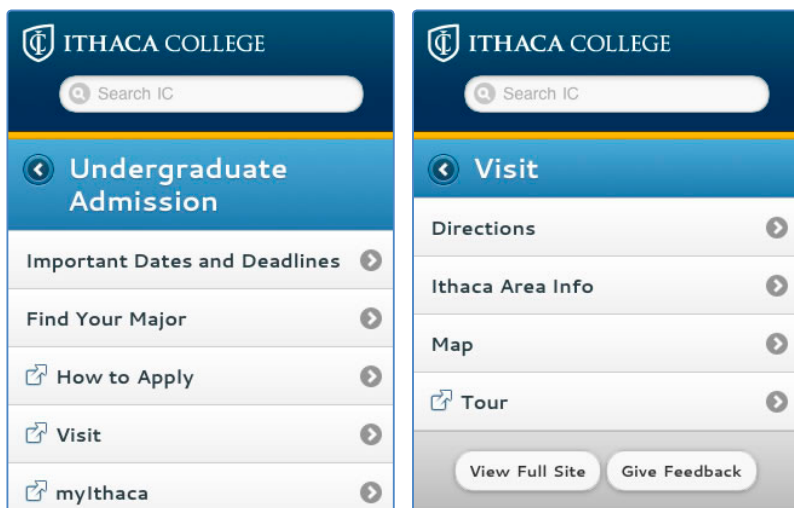
## リスト型

アコーディオン型に近い印象ですが、あらかじめ読み込まれていたサブメニューをタップによって表示するのに対し、リスト型ではその項目に該当するページに直接遷移する手法がとられます。そのため、上部には上の階層に戻るためのボタンを設置するのが一般的です。

### Ithaca College, Ithaca, NY

リスト型メニューを中心に構成したWebサイトです。このサイトのように、比較的規模が大きめで階層の深いWebサイトに適しているといえます。

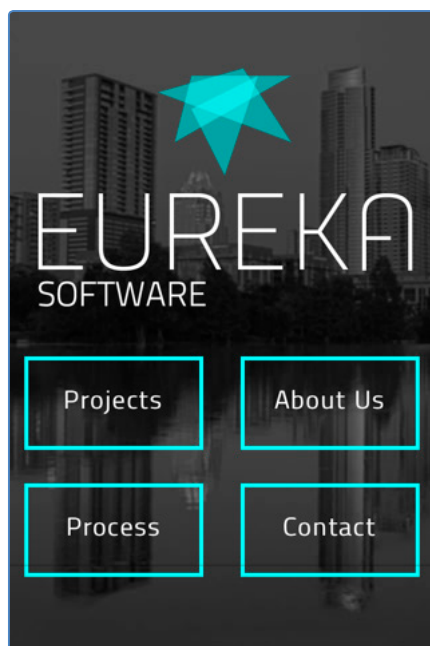
<http://www.ithaca.edu/>



## ダッシュボード型

トップページにアイコンを並べたスタイルで、一見、スマートフォンのホーム画面に近い印象のナビゲーションです。アイコンとメニュー名で構成する 경우가多く、各メニューはグリッド状にレイアウトします。

メニューが多くてもグリッドに沿って整然と並べることができ、ボタンとボタンの距離も離れているので操作性の面でもゆとりがあります。また、アイコンを含む四角形のエリアが印象を決める大きな要素となるため、比較的グラフィカルでデザイン性の高いインターフェイスが実現できます。



<http://eurekasoft.com/m.html>

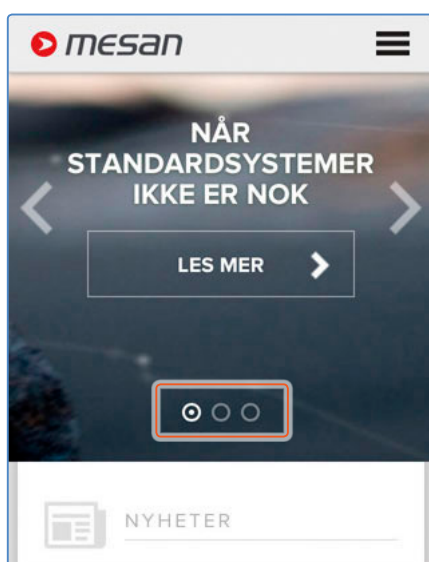
## カルーセル型

カルーセルとは「回転木馬（メリーゴーラウンド）」の意味であり、フリックによってコンテンツが次々と入れ替わるため使われている用語

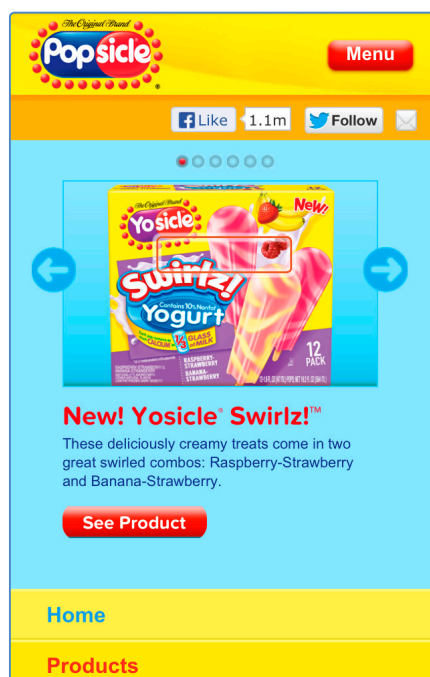
スマートフォンでよく使われるUIに「カルーセル」があります。これは指でコンテンツを左右にフリックするインターフェイスを指し、スムーズな操作感がいかにもスマートフォンらしいといえます。

トップページのメインビジュアルに活用されることが多いUIです。ただし、左右の矢印ボタンや切り替えボタンなど、カルーセル型のUIであることを、まずは視覚的に伝える必要があります。

以下のふたつのサイトは、小さな丸いボタンを表示しています。これにより、何枚の画像があるのか、いま何番目の画像なのかすぐにわかります。また、左右に配置した矢印ボタンも、切り替えが可能であることを伝えるのに大切な役割を果たしています。



<http://www.mesan.no/>



<http://m.popsicle.com/>



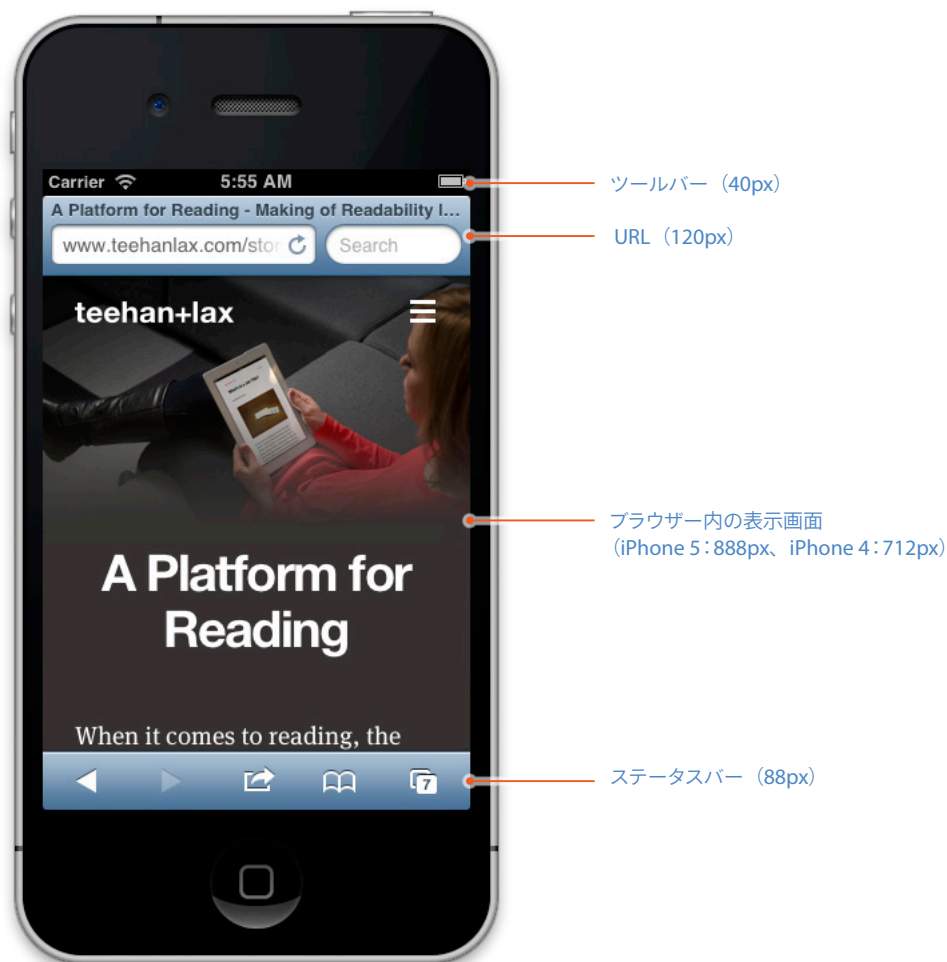
## データ制作時の注意

スマートフォン用のWebデザインを行う場合、表示領域がすべて使えるとは考えずに、ステータスバー、アドレスバー、ブラウザー下のツールバーによって、画面内は思ったよりも高さがないことを前提にデザイン作業を進めましょう。

### 標準パーツのサイズを知る

配布されているUIテンプレートなどを使い、表示領域にはめ込むことができるパターンを用意しておくとう便利です。標準的なスマートフォンとしてiPhoneを想定するのがシンプルです。AndroidのUIテンプレートも利用できますが、画面サイズが多岐にわたるため、ターゲットとするデバイスのサイズや解像度を確認しておきましょう。

いずれの場合も、ファーストビューの領域がどの程度かをしっかりと把握しておきます。



#### iPhoneのSafariの各UIパーツサイズ

図中のpx数はデバイスピクセル数で記しているの、実際はその半分に縮小されて表示される

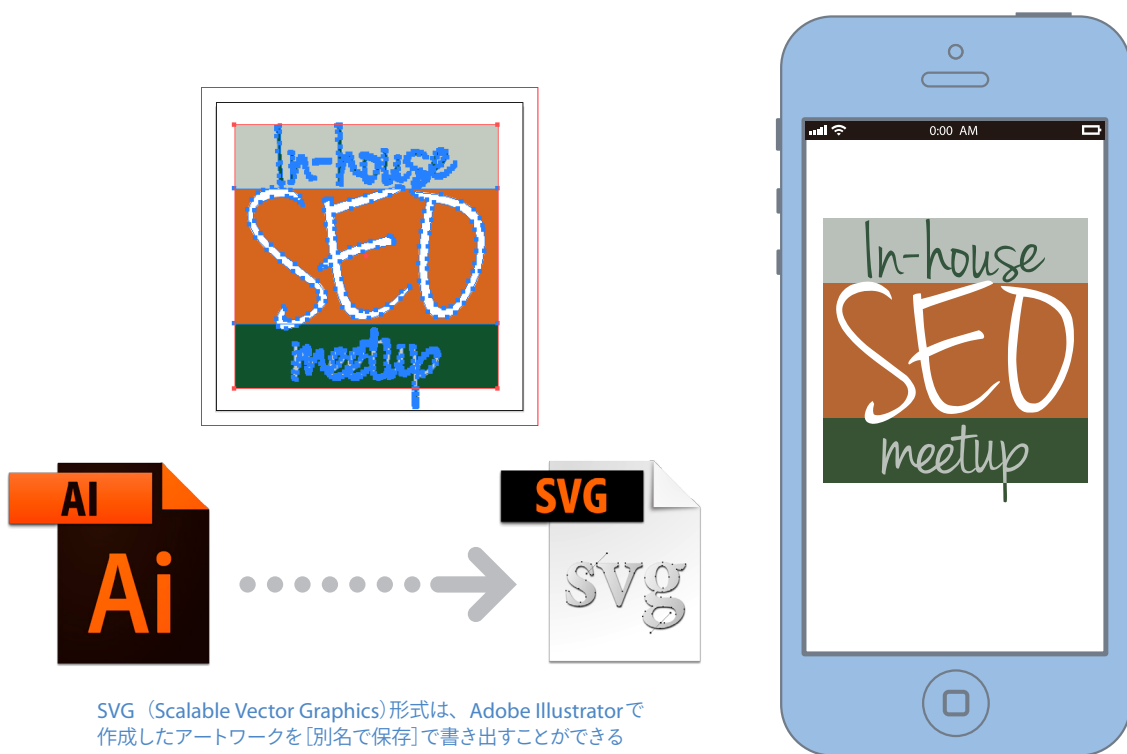
## 拡大縮小に強いデザインづくり

スマートフォン用のWebデザインを行う際には、デバイスピクセル比を意識する必要があります。具体的には、Retinaディスプレイを搭載するiPhone 4/4S/5で画像を美しく表示させるためには、実際に表示させるサイズの縦横2倍のサイズの画像を用意する必要があるということです。

Adobe Photoshopなどの画像編集ツールでデザインキャンブを作成する場合、ベクターデータをできるだけ活用しましょう。Adobe Illustratorで作成したアイコンやパーツは、スマートオブジェクトやパスとしてPhotoshopにペーストしておく、後からの拡大縮小や修正に強いデータになります。

デザインキャンブ自体を2倍の大きさにデザインする方法もありますが、ほとんどのインターフェイスをCSS3で装飾する前提であれば、等倍でキャンブを作成し、画像化するパーツのみをスマートオブジェクトやパスにしておく方法もあります。

特に注目したいのはSVG (Scalable Vector Graphics) 形式のデータの活用です。SVGはこれまで、サポートされているブラウザが少なかったため、あまり使われることがありませんでしたが、現在では多くのブラウザがSVGをサポートしています。ベクター形式で画像を制作し、SVGで書き出すという実務が、今後は一般的になるかもしれません。



SVG (Scalable Vector Graphics) 形式は、Adobe Illustratorで作成したアートワークを[別名で保存]で書き出すことができる



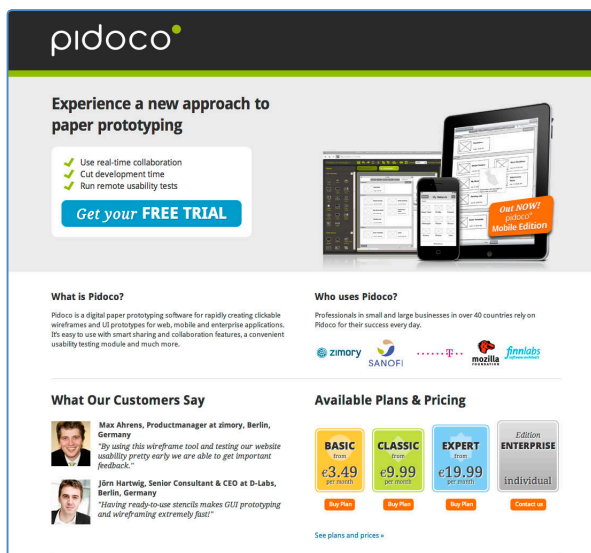
## ワイヤーフレーム／ペーパープロトタイピングの活用

インターフェイスの方向性が決まっていないと、試行錯誤に時間がかかってしまい、スムーズな作業が難しくなってしまいます。企画やアイデア出しの段階では、オンラインのワイヤーフレーム作成サービスやペーパープロトタイピングで全体像を決めていくのもよい方法です。インターフェイスの方向性を決めておくと、データ制作時の大きな指針となり、スムーズな進行につながります。

代表的なインターフェイスの種類やそれぞれの特徴を把握していると、UIに関する議論を深めることができます。知識だけでなく、経験にもとづいた操作感のイメージも不可欠です。

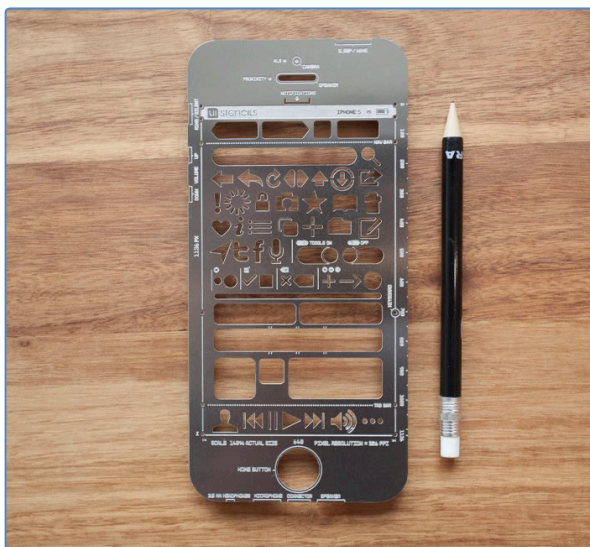
### ペーパープロトタイピング

紙に手書きすることで、インターフェイスやデザイン、インタラクションなどを検証する手法。もっとも簡単なのはフリーハンドで書くことであるが、テンプレートの外観（ワイヤーフレーム）を印刷した紙を用意したり、ステンシルを使って書くなど、さまざまな方法がある




The image shows the Pidoco website, which is a digital paper prototyping tool. The header features the Pidoco logo and navigation links. The main section is titled "Experience a new approach to paper prototyping" and lists benefits: "Use real-time collaboration", "Cut development time", and "Run remote usability tests". A prominent button says "Get your FREE TRIAL". Below this, there's a section "What is Pidoco?" explaining it as a digital paper prototyping software. Another section "Who uses Pidoco?" lists various companies like Zmory, Sanofi, and Finn Labs. A "What Our Customers Say" section includes testimonials from Max Ahrens and Jörn Hartwig. The "Available Plans & Pricing" section shows four plans: Basic (€3.49), Classic (€9.99), Expert (€19.99), and an individual edition. The footer has a link to "See plans and prices".

ペーパープロトタイピングの制作支援ツール pidoco  
<https://pidoco.com/en/lp/paper-prototyping>



ペーパープロトタイプを作成するためのステンシル  
<http://www.uistencils.com/collections/frontpage/products/iphone-stencil-kit>



The image shows the Mockingbird website, which is an online tool for creating wireframes. The header features the Mockingbird logo and navigation links. The main section is titled "Wireframes on the fly. mockingbird" and describes it as an online tool that makes it easy to create, link together, preview, and share mockups. A prominent button says "Try it now.". Below this, there's a section "mockingbird helps you..." with four sub-sections: "Save time and money", "Satisfy clients", "Focus your team", and "Build better products". Another section "mockingbird makes winging it easy:" lists features like "Mock it up fast", "Make links", and "Collaborate". The "More about mockingbird..." section includes details about grids, text sizing, and a better user experience. The footer has a link to "Try it now." and contact information.

モックアップ作成のための支援ツール mockingbird  
<https://gomockingbird.com/>